

俺とお前は♪草刈りなかまぁ♪

～ 第14回秋田草刈唄全国大会 in にかほ ～



大賞の部で優勝した須田政博さん（由利本荘市）

6月20日、仁賀保勤労青少年ホームで「第14回秋田草刈唄全国大会 in にかほ」が開催され、全国各地から、大賞・高齢・年少の部と合わせて164名が参加し、自慢の歌声を披露しました。

「秋田草刈唄」は、草刈り場への道すがら、時に馬上で、時に手綱を引きながら、時々気分や情景を歌ったものとされています。

参加者の情感あふれる歌声は、人馬一体、昔の農家と馬との素朴な関係を彷彿させ、のどかな情景が目の前に広がるような温かい一時となりました。

夏が待ちきれない！

～ 市内の学校でプール清掃 ～

6月中旬から、市内の各学校ではプール清掃が行われました。1年分の汚れを落とそうと、デッキブラシとタワシを手にした児童・生徒たちは、ゴシゴシと一生懸命にプール槽をこすっていました。

清掃だけではもの足りないのか、中には全身ずぶぬれになってバシャバシャと水遊びをしたり、水面を滑るアメンボを追いかけていたりする児童の姿も。

これから子どもたちの季節、夏が到来します。それを前に、子どもたちの気持ちは準備万端。夏が待ちきれないようでした。



清掃作業の合間にも笑顔が

象潟小唄石板の寄贈

6月3日、佐々木勇二さん（潟見町1区）から、象潟小唄が刻まれた石板が寄贈されました。歌手の島倉千代子さんが歌った象潟小唄（結柴宗人作詞、古賀政男作曲）の情感豊かな歌詞が、黒い石板に刻まれたもので、しばらくの間、象潟庁舎市民ホールに展示される予定です。



JA共済ソーシャルクロックの寄贈

6月5日、道の駅象潟「ねむの丘」直売施設前に、秋田しんせい農業協働組合から「JA共済ソーシャルクロック（屋外時計）」が寄贈されました。

同組合の地域貢献の一貫として、平成10年「ねむの丘」のオープン記念に寄贈されていたものを、老朽化に伴い更新したものです。新しくなった時計は、訪れる観光客に正確な時刻を知らせるとともに交通安全も呼びかけています。



木流し工法の講習

水害から地域を守る！

～ 水防工法講習会・競技会 ～

6月6日、平成21年度にかほ市消防団水防工法講習会・競技会が百目木地内の白雪川堤防で行われました。市内の消防・水防団員や秋田県消防学校の初任科生など250名が、午前の講習と午後の競技会に参加しました。

一昨年の集中豪雨、数年前の台風による高潮と、地球温暖化の影響で、水害は毎年のように発生しています。そのため、河川が管轄内に存在しない消防団の幹部たちも、土のう積みなど水防工法の基礎を学びました。

当日は雨天だったため、災害時に即した講習・競技会となりました。

色鮮やかな花々「豊かなまちへ」

～ 国道沿線などの花植え：仁賀保地域 ～

6月6日、仁賀保地域の国道7号（琴浦橋付近から平沢跨線橋付近）やJR仁賀保駅前、すずらん通りなどの道路脇花壇への花植えが行われました。

国交省からの配布苗や市内の生産者が育てた花苗を、毎年、地域の奉仕作業などで植栽しているもので、小雨の降る天候の中、日赤奉仕団・平沢自治会・TDK・飛良泉などの方々により、赤や黄のサルビアやマリーゴールドなど、約18,000本が植えられました。

色鮮やかな花々は、道行く人々の目を楽しませ「豊かなまち にかほ」のために一役買っています。



雨にぬれながらの植栽作業

一人ひとりのマナーが大事

～ 鳥海山象潟登山道クリーンアップ ～

6月15日、鳥海ブルーラインの道沿い（約10km）で、にかほ・由利本荘市のライオンズクラブ（7支部）計60名による「鳥海山象潟登山道クリーンアップ」が行われました。

クリーンアップでは、冬の間、雪に埋もれて隠れていた心ない方が捨てていった空き缶やタバコの吸い殻、弁当の空箱等が会員の方々の作業により収集されていきました。会員の方々は、鳥海山の美しい景観等を維持するために、一人ひとりがもっとマナーを守る必要があると語っていました。



ライオンズクラブ会員による労力奉仕風景